# 第27号　本小の教育「授業改善研」　5年初任

## ○本小授業改善「主体的・対話的な深い学び」

今回は、５学年・算数、佐久川和幸先生は、国頭教育事務所・主任指導主事・千葉康成先生を主事招聘しての「初任者授業」を実施しました。これまでも「授業後の感想」を述べてきましたが、本当に良く頑張っておられます。いつも準備が万端である。和幸先生は、休日も出てきて授業の準備、教材教具の準備を行っています。とても素晴らしいのは、誰にも気づかれずに職員男子のトイレ掃除をしていることです。黙って一人黙々と掃除をしています。「黙働清掃」を続けています。「自己の鍛錬」の為、「自己を磨く」為が、みんなの幸せに繋がっている。

**■ 5年2組（算）「 佐久川 和幸 」先生　5校時目 ［初任授業］**

### 【児童の手（学習規律）】

### 【教室の色（支持的風土づくり）】

**■「本時の授業の流れ」（指導案より）**

●【本時の目標】

※「約数」「公約数」「最大公約数」の意味を

01 **［問題の提示］**１㎠の正方形を12個全部並べて長方形を作成。縦・横の長さは？

02 **［算数的活動］**マグネット付きブロック活用

03 **［めあて］**長方形の縦の長さには、どんなヒミツがあるのかな？

04 **［自力解決］**各自M付きブロックで作業

05 **［小班活動］**４名グループによる検討会

06 **［表を作成］**長方形の縦の長さを記入する

07 **［算数的言語活動］**「約数」と云う用語

08 １２を割り切れる数を「１２の約数」

●「４は、１２の約数」（わり算）

●「１２は、４の倍数」（かけ算）

09 **［まとめ］** 約数（長方形の縦）は、割り切れる数である。かけ算でペアにもできる。

●［練習問題］リトルティチャーを取り入れ

●［振り返り］本時の学習を踏まえて次時へ

**■「本時の授業を踏まえて」（良い点）**

●まず、導入段階の「M付きブロックの作業」は、**他の教科書等から引用**。子供達の算数的活動の効果を考えての配慮か？スゴイ！

●**「自力解決」**等チェックに **LittleTeacher** を活用、定着している。まず、「学び合い」に繋がる。次に「認め合う」にも繋がる！

●**タイム・マネジメント**（時間管理）が良い！時間をかける所、流す所が事前の計画的だ！

●一時は、ペア学習が多かったが、現在は、グループ活動を重視している。効果は大だ！

●**「評価」**「目指す子供の姿」Ａ・Ｂが、明記

●**「宿題」** 授業の定着を図る「類似問題」小さな**「成功体験」**を与え**「自己肯定感」**へ

### 【教師の眼（教師の姿勢）】

**【感想】**　**「学力向上グランドデザイン」「フォーカスＳ」、を通し観る...」。**　その「授業」を、見える化

○「先ず関心するは、教材研究と教材教具の準備が万端。子供の実態に合わせ指導者の苦悩と工夫が見える」

○「模擬授業を事前に行っているかの如く、図ったような授業の進行。タイム・マネジメントが実にスゴイ」

○「学力向上グランドデザイン、フォーカス・シートを**「フィルター」**にして以下、観（診）ていくことに」

○ **【自己肯定感】**：一人一人敬称で呼ぶ、小成功体験を積み重ね、学び合えるグループ、認め合える学級に」

○ **【学び・育ち】**：個別の意識化 ⇒ 自力解決 ⇒ ペア ⇒ 小集団 ⇒ 学級全体 ⇒ 個別の定着化へと繋ぐ」

○ **【組織的関連】**：初任者研修、学年会による教材研究、互見授業、校内研全体など、組織的なＯＪＴ通し」

○「補充経験が何年かあるが、謙虚に学ぶ姿勢、吸収しようとする姿勢、研究を怠らない姿勢がとても素敵」

校長より